



殺生石 女体

古典の日記念
品川能楽鑑賞会

平成27年 **10月30日(金)** 18:30開演 (18:00開場)

十四世喜多六平太記念能楽堂 (喜多能楽堂)

チケット(全席指定) 一般 **3,800円** 学生 **2,200円**

前売開始 平成27年7月28日(火) ※チケットの取り扱いについては裏面をご覧ください。

◎お話し 葛西聖司(アナウンサー・古典芸能解説) / 喜多流能楽師

◎能「殺生石 女体」 中村邦生

主催：公益財団法人十四世六平太記念財団 協力：喜多流職分会

共催：品川文化振興事業団 後援：品川区、品川区教育委員会、古典の日推進委員会

お問合せ：喜多能楽堂 03-3491-8813 喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>

古典の日記念 品川能楽鑑賞会 殺生石 女体 “せっしょうせきによたい”

11月1日は古典の日。人々が古典に親しみ、古典が心のよりどころとなることを願って制定されました。品川区にある喜多能楽堂では、この特別な日に因んで今年10月30日、能楽鑑賞会を開催します。第一部では葛西聖司さんの進行で、能楽喜多流の能楽師とともに、能楽について、また本日の演目の見どころをお話しします。第二部では、その昔天竺、唐、日本と三国にわたって悪事をなした妖狐が、那須野で打ち果たされて石となった故事を題材とする能「殺生石」を、「女体」の演出でお届けします。初心者にも見どころ溢れる公演です。

● 料金(全席指定) 一般 3,800円 学生 2,200円(当日学生証提示)

● 前売開始 平成27年7月28日(火)

● チケット取扱い

◆ 喜多能楽堂 TEL. 03-3491-8813 (10:00~18:00)

ホームページ <http://kita-noh.com/> (要事前登録・無料)

◆ (公財)品川文化振興事業団

『販売窓口』 9:00~ きゅりあん、スクエア荏原、メイプルカルチャーセンター

10:00~O美術館(発売初日は9:00~)、しながわ観光協会

『電話予約』 9:00~(発売初日は10:00~)

チケットセンター CURIA (キュリア) TEL. 03-5479-4140

『インターネット予約』24時間受付(発売初日は9:00~)

(公財)品川文化振興事業団ホームページ <http://www.shinagawa-culture.or.jp>

※ 電話予約では座席をお選びいただけません。

※ 未就学のお子様のお入りはご遠慮ください。 ※ 託児はありません。

● お問い合わせ

喜多能楽堂 TEL. 03-3491-8813 (10:00~18:00)

ホームページ <http://kita-noh.com/>

● 事前講座

『殺生石』をより深く鑑賞いただくための解説講座を開催します。講座のみでもご参加いただけます。お気軽にお越しください。

日時:平成27年10月8日(木) 18:30

会場:喜多能楽堂

講師:長島茂(喜多流能楽師)

参加費用:500円(公演チケットをお持ちの方は無料)

● 申し込み

喜多能楽堂 TEL. 03-3491-8813

● プログラム

古典の日記念 品川能楽鑑賞会

◎ お話し 葛西聖司 (アナウンサー・古典芸能解説)

喜多流能楽師

◎ 能「殺生石・女体」

—ものがたり—

那須野原を通りかかった玄翁和尚が、その上を飛ぶ鳥が次々に落ちて死んでいく不思議な石を見つける。するとどこからか里の女があらわれ、これは殺生石という恐ろしい石で、その昔天竺、唐土を経て日本に渡って来た妖狐が、玉藻前という美女に化け、鳥羽の院に近づいて悪事をなしていたが、陰陽師の安倍泰成に正体を見破られ、この那須野に逃げるが退治される。そしてその執心がこの石となったことを語り、その妖狐こそ自分と明かして石の中に消える。玄翁が石に引導を渡すと、たちまち石は二つに割れ、中から妖狐の精魂が現れ、これまでの悪事の所業と、退治までの顛末を語り舞うと、玄翁の供養により悪心を転じることを誓い再び石となって姿を消す。

(前シテ・里女、後シテ・妖狐の霊) 中村邦生

(ワキ・玄翁和尚) 大日方寛

(アイ・玄翁の能力) 深田博治

(笛) 藤田貴寛

(小鼓) 成田達志

(大鼓) 大倉慶乃助

(太鼓) 林雄一郎

(地謡) 長島茂、友枝雄人、内田成信、金子敬一郎、粟谷浩之、佐々木多門

大島輝久、塩津圭介

(後見) 狩野了一、友枝真也



葛西聖司 (お話し)

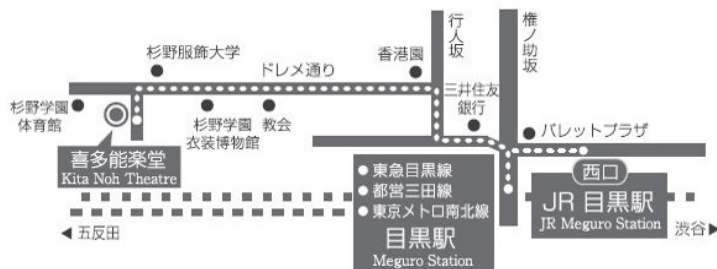
アナウンサー・古典芸能解説者 東京都生まれ/中央大学法学部卒業 NHKエグゼクティブアナウンサーとしてテレビ、ラジオのさまざまな番組を担当してきた。現在はその経験を生かし、能楽、歌舞伎など古典芸能の解説や講演、また日本伝統文化の講義などで大学の教壇にも立ち、朗読教室や執筆活動も続けている。歌謡曲ステージ司会も定評がある。



中村邦生

1954年広島市生まれ。故中村茂の次男。故十五世宗家喜多実に師事。1986年独立し職分となる。「狸々乱」「道成寺」「翁」「石橋」等を抜く。公益社団法人能楽協会理事。公益財団法人十四世六平太記念財団理事。日本能楽会会員。(重要無形文化財総合指定)

● 会場:十四世喜多六平太記念能楽堂 (喜多能楽堂)



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。

目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。

※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車のご来場はご遠慮願います。

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9